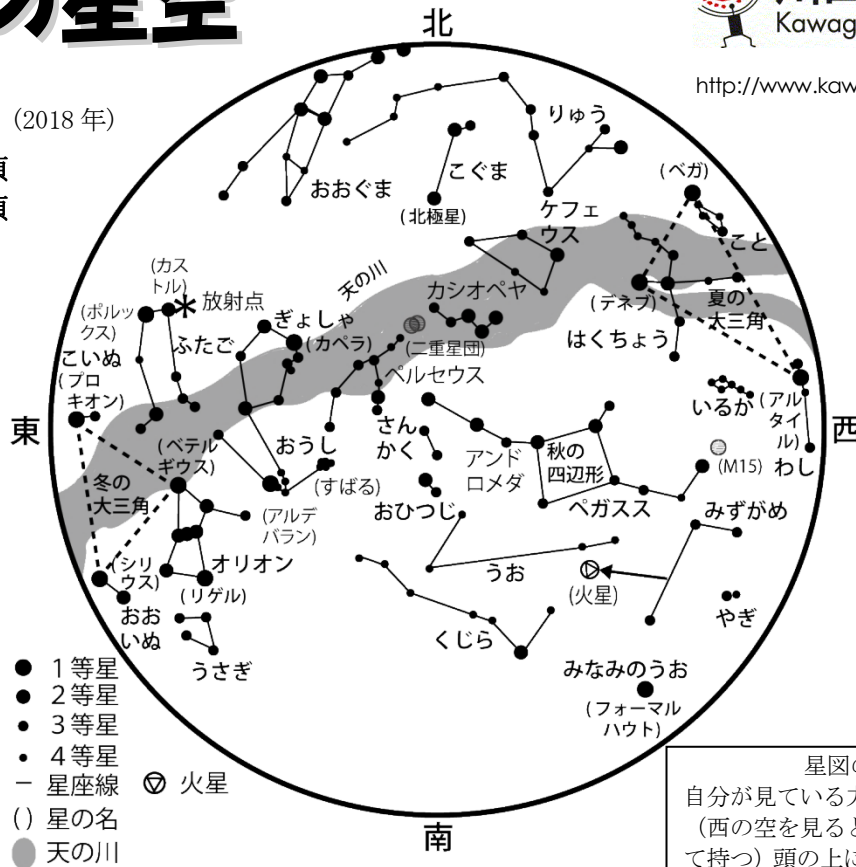


# 今月の星空

12月 (2018年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 星座線
- ⊙ 火星
- ( ) 星の名
- 天の川

星図の見方  
自分が見ている方角を下にして、  
(西の空を見るときは西を下にして  
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 新月 7 日、⊙ 上弦 15 日、○ 満月 23 日、● 下弦 29 日  
惑星情報 火星 夜のはじめ頃 南西 (みずがめ座→うお座 0 等級)

## ☆12月14日 ふたご座流星群が極大

ふたご座流星群は1月のしぶんぎ座流星群、8月のペルセウス座流星群と共に、毎年安定して多くの流星が出現する三大流星群の一つ。この流星群は上の2つと異なり、比較的夜の早い時間帯から流星が出現し始めるので、子どもをはじめ多くの方に観察しやすい流星群と言えます。

**観察のポイント** ※詳しくは国立天文台のウェブサイト (<https://www.nao.ac.jp/>) 等をご覧ください。

- ・観察に適した日…極大時刻が14日21時頃のため、14日から15日にかけての夜とその前日の夜。
- ・見ごろの時間帯…ふたご座にある放射点がある程度の高さに昇る20時頃から明け方まで。  
※一般に放射点が高いほど多く出現し、今回は午前1時~2時頃に最も高くなります。また、14日は22時半頃に月が沈み、それ以降は月明かりの影響も無いため、夜遅い時間ほど好条件となります。
- ・見える数の目安…最も多い時で、空の暗い所では1時間に40個程度、市街地ではその数分の1に。
- ・見方…街灯や月明かりなどのまぶしい光を避けて、空の広い範囲を最低でも15分は見続ける。
- ・準備…空が広く見える安全な場所を下調べしておく。横になれるシートや防寒対策を忘れずに。

## ☆すばる (プレアデス星団 M45)

東の空にはオリオン座などの冬の星座が昇ってきています。オリオン座に先駆けて昇る、おうし座には、「すばる」の名で知られるプレアデス星団 (M45) があります。空の暗い所では、肉眼で6、7個ほどの星が数えることができ、市街地からでもその存在がわかります。双眼鏡や望遠鏡を使えば、よりたくさんの星の群れとして見えます。ただし、見かけの大きさが月4個分ほどあるため、望遠鏡では低倍率にして全景が収まるようにすると良いでしょう。

「すばる」のように星の群れ方に規則性がなくバラバラに集まっている星団を散開星団と言います。他には、かに座のプレセペ星団やペルセウス座の二重星団が有名です。一方、星の群れ方が球状で中心部ほど星が密集している星団を球状星団と言い、へルクレス座のM13やペガサス座のM15などが代表的です。



すばる (プレアデス星団)